

越谷市に伝わる郷土芸能 始めてみませんか？



郷土芸能きょうどげいのうとは、地元で伝承され、その土地の祭礼や行事などで行われる芸能のことです。お祭りのときに「ぴーひゃら、ぴーひゃら」と聞こえてくるお囃子はやしや、神楽かぐら、獅子舞ししまい、木遣きやりなどがあり、越谷の人々の暮らしの中で今も受け継がれています。

越谷市郷土芸能保存協会の主な活動を紹介します

郷土芸能体験教室きょうどげいのうたいけんきょうしつ

- 日時 令和6年8月24日(土) ●参加費 無料
- 小学生から大人まで幅広く募集予定 ※事前にお申込が必要となります。

越谷市郷土芸能祭こしがやしきょうどげいのうさい

- 日時 令和7年3月2日(日) ●入場料 無料
- 出演 越谷市郷土芸能保存協会、市内伝統芸能保存・継承団体、小学校の伝統芸能クラブ

◆◆◆体験教室・芸能祭の内容等詳細は、広報こしがや等でお知らせいたします。◆◆◆

越谷市郷土芸能保存協会こしがやしきょうどげいのうほぞんきょうかいとは

市内に伝承されている伝統芸能の保存・継承を目的に、昭和60年8月に設立した団体です。

現在は、20代～90代まで幅広い年齢の方が加入しています。年間の活動は上記の事業のほか、後継者の育成を中心に、市内外の神社祭礼への奉納や、小学校での郷土芸能指導・クラブ活動指導など、幅広く活動しています。

あなたも、郷土に伝わる伝統芸能に触れてみませんか？



加盟団体稽古日

団体名	稽古日(※)	稽古場所	内容
神明はやし連中 <small>しんめい</small>	①毎週月曜日 18時から ②毎週金曜日 20時から	①大沢香取神社神楽殿 ②大沢二丁目自治会館	お囃子、獅子舞、里神楽
越谷市木遣保存会	毎週水曜日 20時～22時	御殿町2-36 高元建設分室2階	木遣
越谷伝承民謡民舞保存会 <small>でんしょうみんやうみんが</small>	毎週水曜日 ①13時～15時 ②15時30分～17時	袋山266 薬師堂集会所	民謡(民舞)
和太鼓 龍虎流越谷龍虎太鼓 <small>りゅうこりゅう</small>	毎週金曜日 19時30分～21時	新川町一丁目自治会館	和太鼓(曲打ちと組太鼓)

※稽古日が変更になっている場合がございますのでご注意ください。

【問合せ】 越谷市教育委員会生涯学習課 文化振興担当

〒343-8501 越谷市越ヶ谷4-2-1 電話：048-963-9307

木遣

越谷の木遣歌は、平成2年に越谷市無形民俗文化財に指定されました。木遣歌は、古くから集団で大木などを運搬する際に、力を合わせるため掛け声のように歌われたもので、それが近世に入り、大土木工事の需要増大に伴い発展しました。市内には江戸時代以降に伝えられたとされ、建築の棟上祝儀や宴席などで歌われてきました。

現在は主に久伊豆神社祭礼の練歌、山車の曳き歌や、結婚式などでも歌われ、伝承されています。



お囃子

お囃子とは、祭りを盛り上げるために笛や太鼓、鉦などを使い奏でられる音楽のことです。神社の祭りでは、境内の能舞台、神楽殿などで演奏されます。また、祭りの行事で行列がある場合は、派手なはんてんを着て、歩きながら演奏したり、山車や屋台に乗り込んで演奏します。



神楽

神楽には、宮廷で行われる御神楽と、一般に民俗芸能として伝承される里神楽があります。豊作や豊漁を願い、病気や災いを追い払うために、神様の前で歌や踊りがささげられます。派手な衣装と動きが見どころで、笛や太鼓の演奏のなか、面や装束を付け身振り手振りの表現で演じます。



獅子舞

獅子舞は、神事性を帯びた祈祷獅子、結婚式や各種祝儀で舞われる寿獅子とに分かれます。また、お正月には町内の一軒一軒を回って歩く「門付け」が行われます。寿獅子は一人で舞いますが、伊勢や熱田では二人、越谷市の下間久里の獅子舞（県無形民俗文化財指定）は三人で舞います。



和太鼓

和太鼓は、古くから祭礼や歌舞伎、能、神社仏閣における儀式などに用いられてきました。

和太鼓龍虎流越谷龍虎太鼓は、干支の中で最強と言われる「龍」と「虎」から名付けました。また、自らの源流を盆太鼓と定め、伝統的な太鼓打法を研究し、動き、さばきの重要要素をもつ現代風な躍動感あふれる太鼓を目指しています。「技」を錬磨し、心に「響」く太鼓を「舞」が如く打つことを基本理念としています。



民謡

民謡は、その土地の人に育てられ愛された唄です。昔、まだテレビ等が普及していなかった頃の娯楽といえば、唄や踊りです。仕事のかたわら、宴会、お祭や年中行事、新築や結婚を祝福する時など、民謡はいつも人々の暮らしに寄り添っていました。

越谷では、昭和50年代に古くからの民謡が採集され、今日まで保存・伝承されています。

